

した。しかし、近年は一部地方を除いては大半はお料理屋さんや仕出します。

最後に、真宗大谷派では食前のことばと食後のことばというのがござります。

「み光のもと、われ今幸いに
この淨き食をつく

食前のことば

「われ今、この淨き食を終りて

食後のことば
「われ今幸いに
この淨き食をつく

食前のことば

「われ今幸いに
この淨き食をつく

食後のことば
「われ今幸いに
この淨き食をつく



コーナーで取り上げたい。真宗の学びをする上では必携の書であるということをまず、申し上げたい。さまざまな場で勧められて購入した方もあるかと思う。

期待して貰を開いてみたり、あまりの難解に見える文章に、すぐには本棚の肥やしになってしまった方も多いと思う。私自身も宗門の学校において学ぶ際に初めて手についた。

たしかに高校で学んだ古文、漢文の知識では太刀打ちできないよ

うな印象を受けた。親鸞聖人の主著である『教行信証』も全文収められている。何度も『教行信証』を通読しようと挑戦したが、その度に挫折してきた。

本当に地道にコツコツと1日数ページづつ読むという、今までの読書とは全く違う形の読誦ということが必要であった。

お聖教に触れるとはこういうことかといふことを真宗聖典によつて教えられた。

もちろん『歎異抄』も收められている。蓮如上人の『御文』も收められている。

聞法とはどこで始まると言えるかと言うならば「真宗聖典」を買つたところから、と言えのではないか。それは自主性が必要であるからだ。「真宗聖典」を読んでみようか、手にとつて家で確かめてみようか。そんなところから始まるのではないか。

今回は真宗聖典をあえてこのコーナーで取り上げたい。真宗の学びをする上では必携の書であるということをまず、申し上げたい。さまざまな場で勧められて購入した方もあるかと思う。

期待して貰を開いてみたり、あまりの難解に見える文章に、すぐには本棚の肥やしになってしまった方も多いと思う。私自身も宗門の学校において学ぶ際に初めて手についた。

たしかに高校で学んだ古文、漢文の知識では太刀打ちできないよ

※インターネット
「読みま専科 TOMO ぶつぐ」
(東本願寺出版)
<https://books.higashihonganji.or.jp>
にて購入できます。

で手配下さい。仕出し弁当業者さんを数社、ご紹介できます。

配膳、片付けなどは当方では行っておりません。仕出し弁当業者さんより派遣していただく、またご自身で

行つて下さい。使用時間は2時間までとなります。(通夜葬儀の場合は除きます。)人数などによりお受けでき

お早目にご相談ください。

ご利用にあたって使用料などはいただいておりませんが、寺院施設は護持金、布施などによる皆さまのご懇意で維持運営しております。大切にご利用願います。

ご利用にあたって使用料などはいただいておりませんが、寺院施設は護持金、布施などによる皆さまのご懇意で維持運営しております。大切にご



7月28日に歎異抄第四章の輪読会、そして8月26日には、廣瀬惺惺先生を講師に歎異抄第四章のご講義をいたしました。第四章は短い文章ながらどのよつにいたけば良いのか難しい章とも言えます。7月の会は台風のぶかる日となってしましましたが8月は逆に暑すぎる日差しの中、初参加の方を含め多くの方にご参加いただました。

昨年に増して、閑達な質問が廣瀬先生にぶつけられ、夏にふさわしい熱のこもったご講義でした。

さて、今年の廣瀬先生のご講義は今年で第3回目となりましたが、日程なりだけなかた方々も多いかと存知ます。そこで善仁寺で昨年の廣瀬先生の「歎異抄講義」と報恩講での大島義男先生による法話をお文章化して本にしました。

「大悲」という題名で、出版いたしました。善仁寺にて販売しております。

ご要望の方は善仁寺まで連絡ください。

生の「歎異抄講義」と報恩講での大島義男先生による法話を文章化して本にしました。

「大悲」という題名で、出版いたしました。善仁寺にて販売しております。

ご要望の方は善仁寺まで連絡ください。

この度、この運営に当り、寄付のお名前(ご指定可)を提灯に表示してお飾りいたします。振る舞つております。除夜の鐘の前後約10日程度、境内を提灯で飾り、甘酒やお餅などを近隣の地域の方へも開放して、ご参加ください。

善仁寺では長年、大晦日には「除夜の鐘」つきを催します。提灯飾り期間は2018年12月20日頃~2019年1月10日頃です。

寄付資格はどなたでも可

どなたでも可

どなたでも可

どなたでも可

どなたでも可

どなたでも可

どなたでも可

どなたでも可